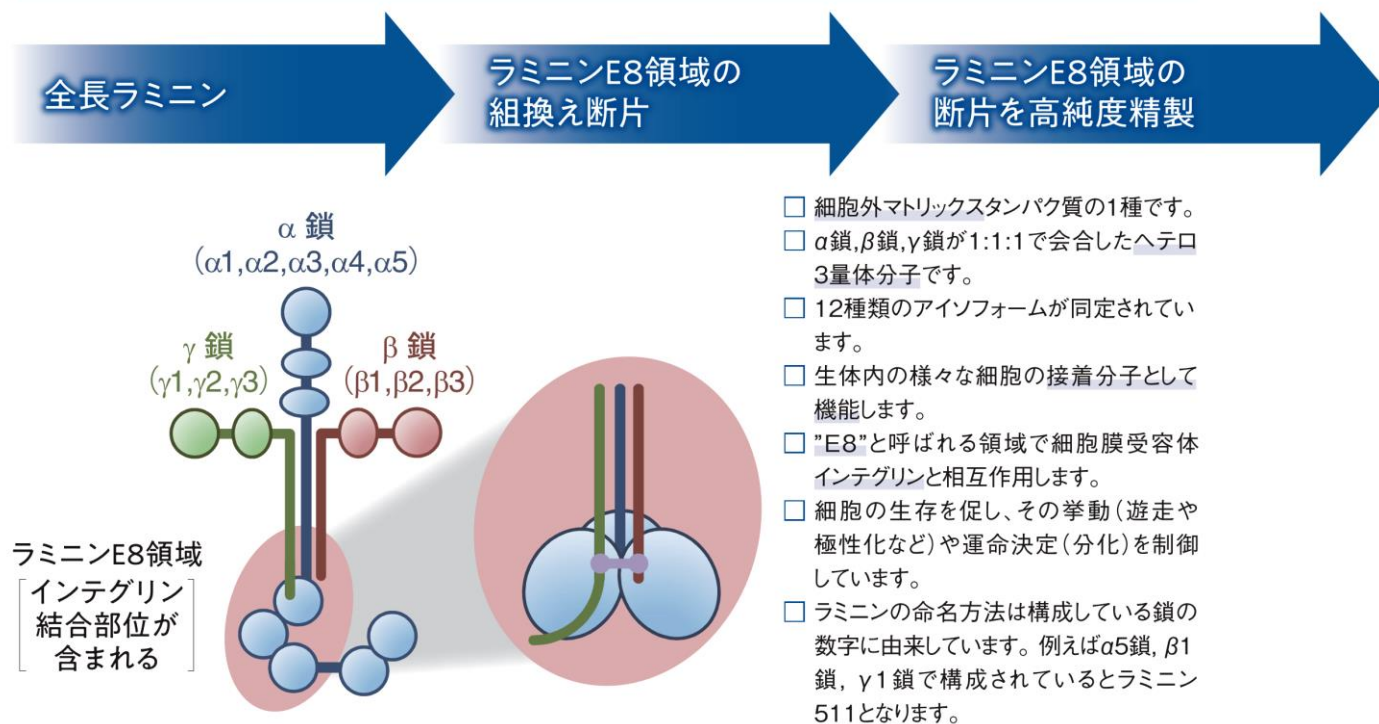
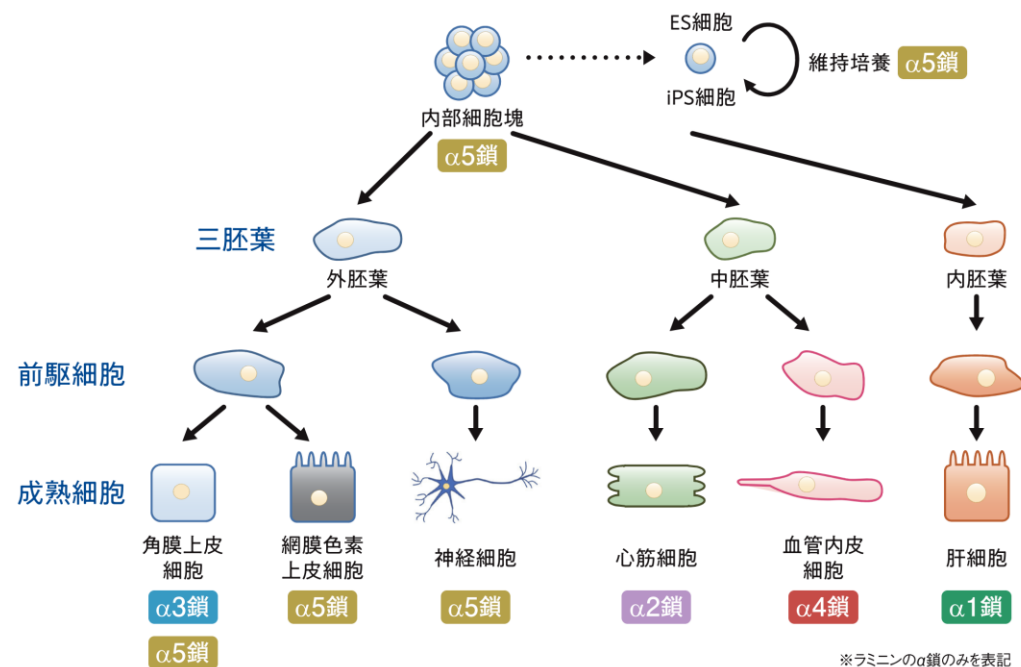


ラミニンは細胞接着分子です



生体内でのラミニンと細胞の組み合わせ



- ✓ ラミニンが細胞の挙動や運命を制御する機能は、主にα鎖(5種類)に依存しています。
- ✓ ラミニンは細胞の分化段階で変化します。

生体内でのラミニンと細胞の組み合わせを細胞培養に活かすことで、多能性幹細胞を効率的に分化誘導することが可能となります。

細胞培養基質の iMatrix-series



★各製品の価格は2023年5月1日に改定となります。詳しくはお取り扱いの代理店にお問合せください。

ラミニンE8領域の断片

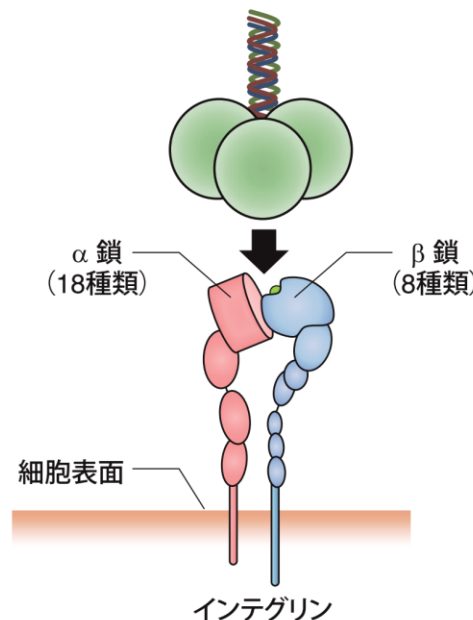


Table. ラミニンE8領域の断片とインテグリンの結合特異性

ラミニンE8領域の断片		インテグリン	
α鎖	対応製品	α鎖, β鎖	発現している主な細胞
1	iMatrix-111	α6β1 α7X2β1	肝臓細胞
2	iMatrix-221 iMatrix-221MG	α7X2β1	心筋細胞 骨格筋細胞
3	iMatrix-332	α3β1 α6β4	皮膚 角膜上皮細胞
4	iMatrix-411	α3β1 α6β1	血管内皮細胞
5	iMatrix-511 iMatrix-511silk iMatrix-511MG Easy iMatrix-511 Easy iMatrix-511silk	α3β1 α6β1 α6β4	多能性幹細胞 内部細胞塊 神経細胞 網膜色素上皮細胞 角膜上皮細胞

Fig. インテグリンはα鎖, β鎖からなるヘテロ2量体のタンパク質で細胞の表面に発現しておりラミニンタンパク質と特異的に結合します。